

第4章 第4次中野区民地域福祉活動計画の重点目標と取り組みの方向性

1. 第4次中野区民地域福祉活動計画の重点目標

(1)第3次中野区民地域福祉活動計画の取り組みの継続

第4次中野区民地域福祉活動計画においても、「社会的孤立を生まない人と人がつながる地域づくり」をテーマに取り組みを進めていきます。その理由は、コロナ禍の影響とともに顕在化した孤立・孤独の課題が子どもから高齢者まで幅広い層に広がり、地域課題として大きくなっていることが、アンケート結果やヒアリングから見てきたことにあります。

これまでのように、支援が必要な人が自ら発信し、必要な支援につなげるというのは限界があり、様々な相談の場や社会資源を作るだけでは解決せず、そこにつなげるためのきめ細やかな支援が求められています。さらに、複雑多様な課題に対応するために、地域で活動する団体や専門職、関係機関が連携協働し、みんなで力を出し合い協力していく基盤づくりが必要となっています。

第3次中野区民地域福祉活動計画で残された課題やコロナ禍での新たな課題に対し、小地域(区民活動センター圏域)でのネットワーク作りを意識し、それぞれの地域特性や地域課題を捉え、きめ細やかな支援を様々な取り組みを通じて進めていきます。

(2)第4次中野区民地域福祉活動計画の重点目標

基本的には、第3次中野区民地域福祉活動計画の重点目標を継続します。重点目標ごとの取り組みを具体化し、コロナ禍での地域活動の再生や顕在化した課題を地域でどのように進めていくのか明確化していきます。

第4次中野区民地域福祉活動計画の重点目標

重点目標①参加するほど楽しくなるまち NAKANO

(地域の人財を増やす・広げる・受け止める)

活動者の高齢化はどの団体にも起こっている。その中で、年代やライフスタイルに合わせた参加のメニュー作りなど、活動に参加するための丁寧なコーディネートや活動団体側にも工夫が求められている。

障害や課題を抱えた方(ひきこもり等)、外国籍の方も含め、中野区に住む多様な人財が、参加できる地域づくりを進め、安心や生きがい、充実感など一人ひとりが役割を持って主体的に参加できることも含められる。

重点目標②多ジャンル共生でつくるまち NAKANO

(地域住民と多様な活動団体が連携し地域を支える)

他機関協働・団体同士の連携・福祉分野だけではない団体等との連携を小地域(区民活動センター圏域)で進めていき、地縁団体と NPO、ボランティアグループなどが、活動内容や分野での縦割りではなく、同じ地域でつながり、多様な課題を受け止め一緒に解決できる地域を作る。